

EUIJ 公開講座

「日本 EU 関係の将来：21 世紀日本の展望とリスボン戦略の観点から」

ヨルン・ケック、前駐日本 EU 大使

現在、ブリュッセルにあるヨーロッパ・アジア研究所の理事であるケック氏が、一橋大学にて EUIJ 関連大学の学生と教授に対して公開講演を行った。講演は、山内 EUIJ 所長の司会のもと、2006 年 9 月 20 日にマーキュリータワー7 階のコンファレンス・ルームにて行われた。

日本で発表された日本の将来についての「ヴィジョン」に基づいたアジアにおける日本の経済戦略について説明した後、ケック前大使は、日本国内でアジアにおいて強い 経済的リーダーシップを日本が発揮すべきだという見解が国内の経済界で強いことを述べた。ついでケック氏は、EU のリスボン戦略(2000 年から 2010 年)について、それが、ヨーロッパが持続可能な経済成長と競争力ある経済とを維持・両立するための戦略であることを説明した。結論として、アジアにおける持続可能な経済成長を促進するに当たり、EU 日本協力が重要であることが強調された。

この講演には、前 EU 大使である木村崇之教授も含め、27 人が出席した。木村前大使は出席者に対してケック前大使を歓迎する言葉も述べた後、いくつか重要な質問を行った。続いて多くの質問がフロアから出され、アジアの将来の経済的発展には EU 日本協力の緊密な協力体制が必要であることが認識された。